12 ことわざ

はっきりと よみましょう。

よくばると
かえって
なにも えられない
にとを おう ものは
いっとをも えず

2羽のうさぎを追いかけてとろうとすると、結局1羽もつかまえられない。つまり、2つの物事を同時に行おうと欲を出すと、かえってどちらもできなくなるという意味です。「テレビを見ながら勉強なんて、二兎を追う者は一兎をも得ずで、ダメですよ」のように使います。

よんだら

ちょうせん

2わの　うさぎを　おいかけて、
↓から　↓まで、せんで　たどりましょう。
どちらか　1わの　ところへ　いけます。

［よんだら はろう］　じょうずに　よめたら、よんだ　ひにちを　かいて、がんばりシールを　はりましょう。

1　かいめ　　がつ　　にち　　がんばりシール

2　かいめ　　がつ　　にち　　がんばりシール

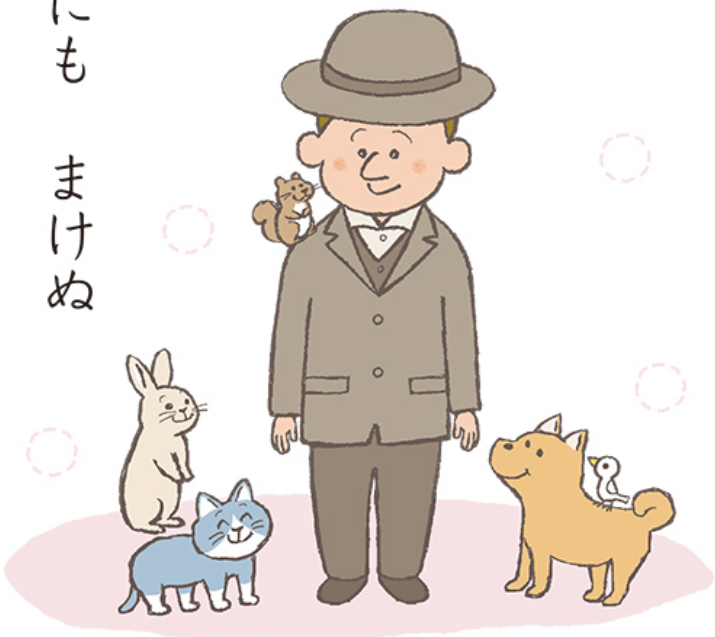
3　かいめ　　がつ　　にち　　がんばりシール

29 ゆっくりと よみましょう。

にほんご

宮沢賢治の詩『雨ニモマケズ…』の冒頭部分です。これは賢治の亡きあと、遺品のトランクから発見された手帳に書き留められていたものだそうです。すべての人にとっての本当の幸いを考え続けた賢治の温かい心が伝わってきます。原文は漢字とカタカナ表記ですが、ここではひらがなで表しています。

あめにも　まけず
かぜにも　まけず
ゆきにも　なつの　あつさにも　まけぬ
じょうぶな　からだを　もち
よくは　なく
けっして　いからず
いつも　しずかに　わらって　いる



よんだら

ちょうせん

よんだ　ぶんを　あんしょうしましょう。
（　）から　ただしい　ことばを
えらんで、○で　かこみましょう。

（かぜ
あめ）にも　まけず

（かぜ
ゆき）にも　まけず

（あめ
ゆき）にも　なつの

（あつさ
あめ）にも　まけぬ

［よんだら はろう］　じょうずに　よめたら、よんだ　ひにちを　かいて、がんばりシールを　はりましょう。

1　かいめ

がつ　にち　がんばりシール

2　かいめ

がつ　にち　がんばりシール

3　かいめ

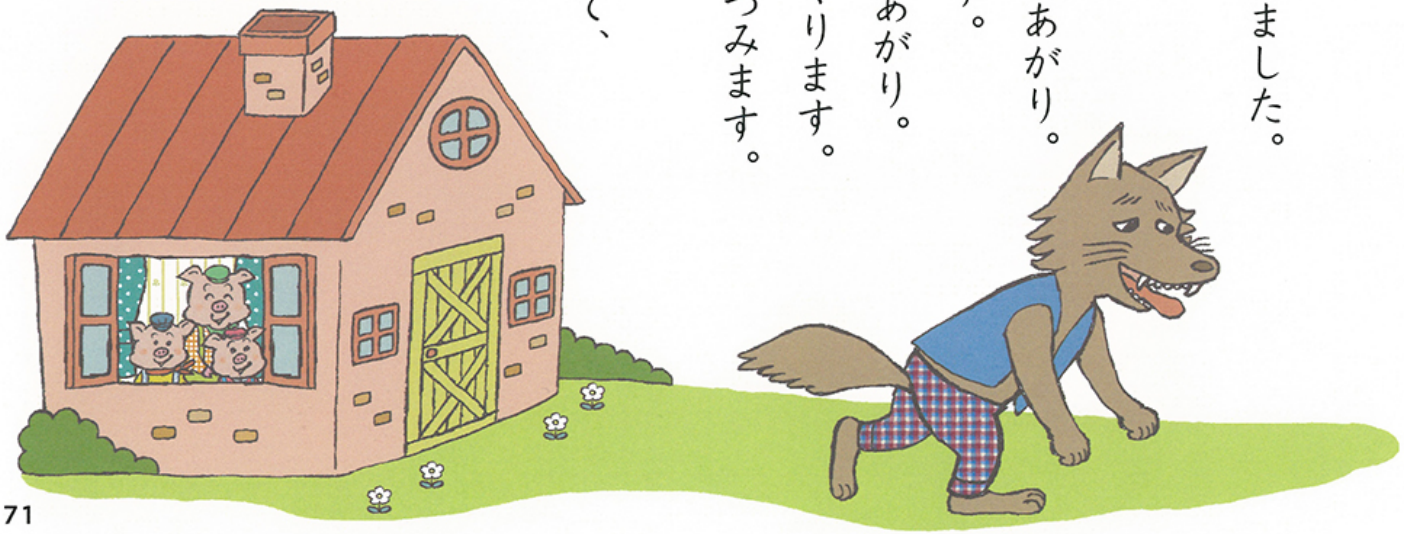
がつ　にち　がんばりシール

36 ゆっくりと よみましょう。

おはなし

イギリスの民話『3匹の子ブタ』です。家を建てるのに、3兄弟はそれぞれわら、木、レンガと異なる材料を使います。比較的簡単に建てられるわらや木の家はオオカミに吹き飛ばされてしまいますが、手間のかかるレンガ造りの家は頑丈で壊れません。「努力は報われる」という教訓としても読めます。

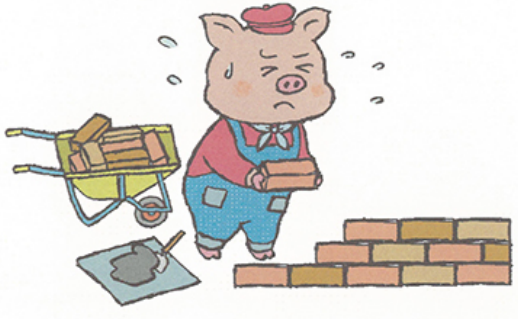
ある ところに、
さんびきの こぶたの きょうだいが いました。
いちばん うえの こぶたは、
わらで いえを つくります。
わらを ぎゅっと しばって、すぐ できあがり。
にばんめの こぶたは、きで つくります。
とんとん くぎを うって、もう できあがり。
さんばんめの こぶたは、れんがで つくります。
おもい れんがを よいしょよいしょと つみます。
いえは ようやく できました。
そこへ こわい おおかみが やって きて、
わらの いえも きの いえも、
あっというまに ふきとばしました。
でも、れんがの いえは こわれません。
おおかみは あきらめて
かえりました。

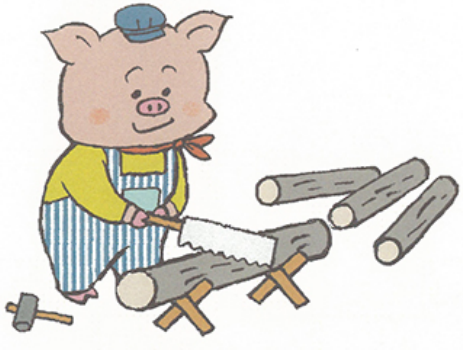


よんだら

ちょうせん

うえの　えの　いえを　たてたのは、だれでしょう。●と　●を　せんで　つなぎましょう。





［よんだら はろう］　じょうずに　よめたら、よんだ　ひにちを　かいて、がんばりシール(しいる)を　はりましょう。

1　かいめ　　がつ　　にち　　がんばりシール(しいる)

2　かいめ　　がつ　　にち　　がんばりシール(しいる)

3　かいめ　　がつ　　にち　　がんばりシール(しいる)